

備前市 事務事業 評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和46年	
総合計画	大項目	基本目標	06 健全で自立したまちづくり
	中項目	基本施策	01 簡素で効率的な行政運営
	小項目	施策	13 その他事務管理(秘書)
事務事業名		02	市長会事業
根拠法令・規程等		岡山県市長会会則ほか	
担当課(室)		総務課	
職・氏名		秘書広報係長・入江章行	
電話		0869-64-1800	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	全国市長会、同中国支部及び岡山県市長会
目的(何のために)	都市に関する諸般の事項を調査研究し都市行政の向上を期するとともに、都市相互の連絡調整を図ること
行政活動(どのような方法で)	全国市長会、同中国支部及び岡山県市長会による行政に関する調査研究、研修、講習会の開催、国県ほかへの要望
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	都市に関する諸般の事項に関する都市相互の連絡調整や国県への要望を通じて、市政の発展を図る

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	市長会出席	回	4	8	9
実績	副市長会出席	回	2	2	3
	国への要望(市長会関係)	回	2	4	3
	県への要望(市長会関係)	回	2	2	4
	その他への要望(市長会関係)	回	2	2	2
	直接事業費	千円	2,468	2,437	2,411
	必要人員	人	0.22人	0.04人	0.04人
事業費	千円	4,084	2,773	2,747	
財源	国	千円			
	県	千円			
	市	千円			
	その他( )	千円			
一般財源	千円	4,084	2,773	2,747	
受益者負担比率	%				

結果指標	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	市長会・副市長会出席数	回	6	10	12
結果指標	対前年対比	%	-	166.7%	120.0%
	活動コスト	円	3,933,000	2,773,000	2,011,000
	単位当たりコスト	円	655,500	277,300	167,583

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
市長会を通じて国県へ要望を行うこと	目標値(A)	1	1	1	1
	実績値(B)	40	48	47	到達目標年度
	達成率(B/A)	4000.0%	4800.0%	4700.0%	-
成果指標設定の考え方・式や説明					
最終的に全国市長会を通じて行う国への要望、又は岡山県への要望を岡山県市長会で審議されること = 目標数値は1					

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価 < A ~ E >	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価 < A ~ E > <b>A</b> 判定理由・課題認識 地方六団体の一つであって、目的・対象ともに妥当である。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 < A ~ E > <b>C</b> 判定理由・課題認識 分担金の増高がないよう求めていく。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 < A ~ E > <b>C</b> 判定理由・課題認識 全国的な行政情報を得る場として有用であり、県下都市の連絡調整、全県的な諸課題を協議する場として意義がある。
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況	
目標値	結果指標量
結果指標量	市長会・副市長会出席数
結果指標量	結果指標量
状況	拡充    現状継続    見直し    縮小    整理統合    休止    廃止・完了
説明	全国市長会、全国市長会中国支部、岡山県市長会・副市長会への出席は優先事項として取り組む。 また、県市長会へ本市の懸案・要望事項を粘り強く挙げていくことで、国県での施策化が実現するように取り組む。

総合評価	
地方六団体の一つであって、目的・対象ともに適切であり、国・県への要望や行政資料の収集、比較検討、調査研究に資する場として今後とも継続して実施すべきである。	評価区分 < A ~ E > <b>C</b>

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明						
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		